

第2回原子力安全シンポジウム

「原子力安全－国民の信頼回復につなげるには」 の開催について

2013年10月22日(火)開催

於 東京 イイノホール&カンファレンスセンター

福島第一原子力発電所の事故により、わが国の原子力に対する信頼が大きく失墜してしまいました。一方、国では、エネルギー基本計画の見直しと共に、産業界の自主的原子力安全性向上に向けた検討を行っています。

そのような中、私たち原子力産業協会は、国民から原子力への信頼を回復するにはどうしたら良いか、に焦点を当てたシンポジウムを開催致します。

基調講演として、長らく新規建設プロジェクトがなく、過半数の発電炉の閉鎖を進めてきたものの、近年原子力開発に再度舵をきった英国を例に、環境問題や原子力技術への理解促進が、大きく政策転換に寄与した経験について伺います。

また、原子力技術を社会の中でどのように捉えるべきかについて、有識者からの講演を頂きます。

これらの問題提起をきっかけに、後半は原子力安全に係る関係者によるパネルディスカッションを行います。原子力安全に直接携わっている規制機関や事業者はもとより、関係者らがどのように信頼回復への取組みを行っていくべきかについて、海外の事例も参考としながら幅広い視点から議論を深め、国民の原子力への信頼回復につなげる方策について考察します。

2013年10月22日(火)

開会セッション (9:30～11:30)

○開会について(9:30～9:40)

○基調講演(9:40～11:30) <講演者2名 コーディネーター1名>

・政策立案プロセスにおける科学的、技術的、工学的視点

・国会事故調でいう「人災」とは何か-「社会システム」課題としての視点-

○パネルディスカッション (13:00～17:20) <パネリスト6名 コーディネーター1名>

「原子力安全を国民の信頼回復につなげるには」

・海外の原子力規制専門家、サプライヤー、日本の原子力規制当局、原子力専門家、マスメディア、電力関係者

○閉会挨拶 (17:20～17:30)

◆会場

「イイノホール&カンファレンスセンター」

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビル 4F

TEL. 03-3506-3251

<http://www.iino.co.jp/hall>

◆主催



一般社団法人 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1-2-8

虎ノ門琴平タワー9F

TEL 03 (6812) 7160

FAX 03 (6812) 7110

e-mail: safetysympo@jaif.or.jp

シンポジウム プログラム

開催日時： 2013年10月22日（火）9：30～17：30

開会について： 9：30～9：40

基調講演： 9：40～11：30

<コーディネーター>：

○ **小出 重幸氏**：科学ジャーナリスト

日本科学技術ジャーナリスト会議会長 元読売新聞 科学部長

<講演者>：

・ **政策立案プロセスにおける科学的、技術的、工学的視点**

○ **デビッド・コープ氏**：前英国議会 科学技術部ディレクター

ケンブリッジ大学クレアホール終身メンバー

・ **国会事故調でいう「人災」とは何かー「社会システム」課題としての視点ー**

○ **横山 禎徳氏**：社会システムデザイナー（前国会事故調査委員会委員）

昼食 11：30～13：00

パネルディスカッション 13：00～17：20（途中休憩含む）

・ 『**原子力安全を国民の信頼回復につなげるには**』

<コーディネーター>：

○ **田中 伸男氏**：一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 特別顧問

国際エネルギー機関（IEA）元事務局長

<パネリスト> 6名（ショートプレゼンの順番は今後、変更の可能性あり）

○ **ポール・ディックマン氏**：元クライン NRC 委員長首席補佐官

○ **山本 哲也氏**：原子力規制庁 審議官

○ **豊松 秀己氏**：電気事業連合会 原子力開発対策委員長

○ **クレイグ・ハンセン氏**：B&W Canada 社 原子力部門 本部長

○ **山口 彰氏**：大阪大学大学院教授

○ **渡部 道雄氏**：共同通信社 論説委員

閉会挨拶： 17：20～17：30

なお、プログラムの内容に関しましては、予告なく変更の可能性がございますことをご了承ください。

以上